

株式会社モスフードサービス

商流・物流の目的ごとに創り上げたシステムを統合・効率化。
分析精度を高め、食の安全・安心を叶えるSCMを確立



COMPANY PROFILE

株式会社モスフードサービス

- 本社所在地：〒141-6004 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 4階
- 創立年月日：1972年7月21日
- 事業内容：フランチャイズチェーンによるハンバーガー専門店
「モスバーガー」の全国展開、その他飲食事業など



1972年の創業以来、「食を通じて人を幸せにすること」を経営ビジョンとし、「おいしさ、安全、健康」を大切に商品に「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んできたモスフードサービス。日本の食文化を生かし、日本人の味覚を重視したハンバーガーを提供するというコンセプトが支持され、現在では直営店ならびに海外店舗、グループ諸業態を合わせて1,735店舗*の規模にまで成長しています。日本の食文化に寄り添い成長を続ける上で欠かせない高度な品質管理体制を追求する中で商流・物流の各部門で最適システムを創り上げてきましたが、食の安全・安心へのさらなるコミットメントを果たすべく、2015年より生産・配送・販売の全システムを統合し、SCMの最適化を推進しています。特に膨大な実績データに基づく在庫シミュレーションは、より高精度な在庫管理・ロジスティクスコントロールを実現するための情報基盤として導入効果が期待されています。*2017年5月31日現在

導入の経緯

急成長する事業展開に即して導入したシステム。
財務・商流・物流それぞれの需要を個別に管理。

モスフードサービスのチェーン本部では、商品の企画開発を行い、それに基づいて必要な食材をメーカーから直接仕入れて店舗に供給するというサプライヤー機能を担っています。食材を全国の店舗に配送するため13か所の配送センターを設け、いずれも外部物流会社の倉庫で庫内オペレーションも外部委託しています。物流拠点に食材が搬入された後の管理—センターでの在庫管理や店舗配送など—についてはモスフードサービスの商品本部が掌管しています。

もともとモスフードサービスには、【GENESIS】という販売管理の基幹システムがありましたが、この在庫管理の精度を高めるため、店舗や仕入れ先と連携をとりながら、ITの活用によるサプライチェーンマネジメントを推進してきました。1999年、シーネットのWMSパッケージをカスタマイズした【Mariana】を導入、これを契機に賞味期限による一元管理を目的として全センターの倉庫管理システムを統一することができました。この一元管理の実現により、在庫の偏在やセンター間での無駄な移送も削減することができ、取扱品目の増加にもかかわらずコストアップを抑えることができました。

クラウド型倉庫管理システム

システム選定のポイント

**クラウドサービスへの移行でインフラを整備し
リアルタイムに生きた情報を「見える化」。
工数・コストを大幅に削減。**

2005年3月にはWMSをクラウドサービスに移行し、関係者全員が在庫に関わる情報をリアルタイムに把握できる体制を確立。基幹業務システムと倉庫管理システム間の情報のつなぎ込みで費やされていた膨大な工数と通信を大幅に削減することができました。また、設備投資の面からもASP方式であればそれぞれの配送センターにサーバを設置することなく、メンテナンス費用もかからないため業務委託先の物流会社にもコストメリットを供与することができました。

**仕入先との情報共有で供給計画の精度を追求。
積極的なキャンペーン展開など差別化を支援。**

係者全員が在庫に関わる情報をリアルタイムに把握できる体その一方で仕入先との情報連携により、期間商品などの調達を含めたサプライチェーンの効率化も推進してきました。

2002年4月には、食材メーカーとの情報共有を目的とするWeb-EDIシステム【MOS-Nile】を稼働。モスフードサービスの販売情報・販売予測情報・在庫実績をメーカーに提供することにより計画生産を促すとともに、メーカーからも生産予定・生産確定情報を開示、過剰在庫や品切れを起こすことなく食材を安定供給できる体制を追求しています。

**複雑化したシステムを統合・最適化。
よりシンプルな運用で情報鮮度を追求。
BCP確保の課題もクリア。**

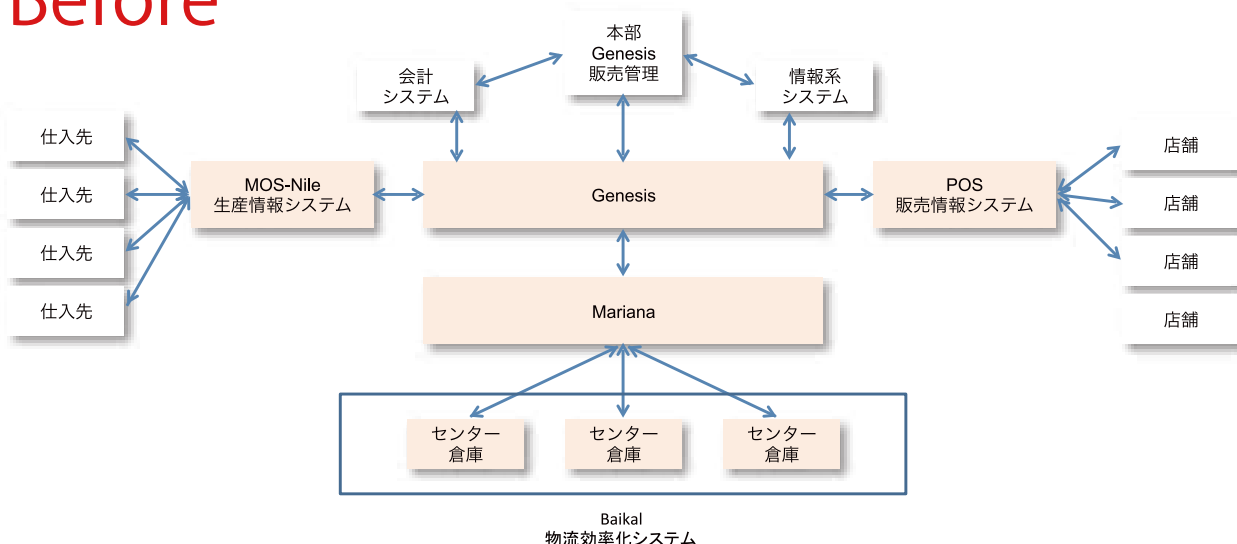
食の安全・安心に徹底的にこだわり、品質への顧客満足を追求するモスフードサービスでは、さらに高次元な品質管理体制を確立するためサプライチェーン全体を統合・効率化するシステムの大改編に着手しました。店舗からのPOS情報、本部からの仕入情報、メーカーからの相互に関連するシステムを複数運用する中で、統合による効率化余地が拡大していたことに加え、BCPの側面からもより組織的にバックアップの取れる体制へと全体統合・最適化を図るため、2015年5月からSCMシステム構築に取り組みました。

これまでの実績から、現場の課題を熟知しているシーネットをパートナーに、さらに進化した機能を実装するための新たなプラットフォーム構築を進め、各システム間で重複していたデータの流れを整理して全体業務を最適化しました。

また、自社データセンターでのシステム運用をクラウドのiDCに切り替えたことで、万一のシステムダウンにも瞬時にデータ復旧・連携が可能な体制をとることができ、企業の事業継続の面からも万全な体制を実現することができました。

Before

【従来のモスフードサービスサプライチェーン全体図】



今後の展望

**自社物流ビッグデータで分析精度をさらに向上。
緻密な在庫予測で物流効率を極限までアップ。
食の安全・安心のさらなる追求を図る。**

新たなシステム構成に移行した最大の主眼は、これまで蓄積された膨大な入出庫情報をもとに、未来時点での在庫シミュレーションを行うこと。そのためにシステム全体を商品流通、つまり物流を中心に据えた構成としました。従来の倉庫管理システム部分を拡大し、店舗での受注情報からメーカーでの生産情報、そして倉庫での入出庫・移送情報までを一元管理できる形とし、全ての情報が時差なく一つのリソースから取り出せるようになりました。無駄のない調達・配送・供給は、モスフードサービスの強みである商品開発力を最大限に生かす期間限定のキャンペーンやプレミアム商品の提供など、他社との差別化をさらに強化するための強力なバックアップとなります。さらに、在庫補充機能・移送スケジュール照合などの実務機能との連動により、商品本部・仕入先・センターなど運用サイドでの使い勝手も格段に向上できました。在庫シミュレーションの実装により、欠品を起こさず在庫を削減するというサプライチェーンの理想形を追求すると同時に、工数減、ペーパーワーク減、コスト削減を進め、より一層の利益率の向上にもつなげたい意向です。

**加盟店・メーカー・倉庫、そしてお客様。
モスフードサービスをめぐる全ての人々に全Winを。**

モスフードサービスが経営理念として掲げる【人間貢献・社会貢献】の意義を尊重して加盟店・食材メーカー・倉庫など全ての関係者にやさしいシステムであることも重要です。機械的・事務的な処理のみに陥らない、イレギュラー対応可能な余地を残した心配りのあるシステム。その上に高精度な在庫予測という仕組みを築き、全方向Winのサプライチェーンマネジメントへと進化していくことが今後の課題です。

**適正在庫、欠品防止、物流コスト削減。
ロジスティクスの切り口からKPIを管理し、適正化。**

大きなテーマは在庫予測の高精度化です。担当者間で同じパラメータを共有し、在庫補充を標準化できたことにより前期比約30%減の在庫適正化ができました。同時に、欠品についても大幅に削減することができました。

現在、移送費・保管料・在庫金額の面から年度目標を据えKPIを管理していますが、今期1Qではほぼ計画通りの進捗を実現しています。



商品流通部
参事 大垣 充 様

**ズレない需要予測で精度の高い在庫補充を追求。
同時にさらなる効率化を実現する
多様なアプローチを。**

新システム稼働で多くの効率化・コストダウンを図ることができましたが、ロジスティクスの面ではまだ改善の余地はあると考えています。

アレルギー対応商品の導入やアルコール飲料提供店舗の新設など事業展開の面からも全ての時間帯に何らかの施策が必要となります。



商品流通部長
長谷川 建次 様

しかし、物流現場での人手不足という宿命を考えると、システム面でどうカバーできるかが鍵となります。データを見る、考える、行動する、その体制をシステムを軸に確立していきたいと思います。シーネットさんにはこれからも我々と歩みを揃えて、次のステップに向けた改善の提案を期待しています。

ソリューションのご紹介

30日間無料トライアル実施中！

クラウド型倉庫管理システム

ci.Himalayas/WMS

シーアイヒマラヤ / ダブルエムエス

外食業界への導入実績多数！

日付管理の標準搭載により、食の安心・安全を担保

3つの特長

- 約170機能を標準装備！業種・業態を問わず様々な現場に対応
- ハンディターミナルで正確かつタイムリーなデータ管理
- 音声認識システム / 基幹システム / マテハン等と柔軟に連携



店舗仕分け向け音声システムも！

クラウド型音声認識システム

ci.Himalayas/voice

シーアイヒマラヤ / ヴォイス

出荷ミスなくし、店舗で「NO 検品」が実現

ピッキング・検品作業の効率や精度が平均約20%以上向上

3つの特長

- アイズフリー・ハンズフリーで作業できる
- 声の登録をすることなく、誰でもすぐに作業開始できる
- 屋外・冷凍など現場に合わせて音声端末を選択できる



C.Net
CORPORATION

株式会社シーネット

〒273-0005 千葉県船橋市本町 4-41-19 本町セントラルビル 6F
【お問い合わせ】TEL:047-422-0515 FAX:047-422-3797 E-mail:info@cross-docking.com

<グループ会社>

シーネット コネクト サービス / シーネットタイランド / シーネット上海 / 北京

物流業務の改善にお困りの方はシーネット HP へ
<http://www.cross-docking.com>

シーネット

検索



ci.Himalayas(シーアイヒマラヤ)シリーズの機能や料金に関するお問い合わせは、公式サイトのお問合せフォームよりご連絡ください。